



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月2日

上場会社名 株式会社アイロムグループ 上場取引所 東
コード番号 2372 URL <https://www.iromgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 豊隆
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 犬飼 広明 TEL 03 (3264) 3148
経営管理・人事労務センター担当
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,616	△0.9	117	△84.0	372	△65.1	291	△67.3
2024年3月期第1四半期	4,659	△2.8	737	△49.1	1,066	△25.6	891	△16.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 344百万円 (△64.3%) 2024年3月期第1四半期 963百万円 (△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
2025年3月期第1四半期	24.11
2024年3月期第1四半期	73.66

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	36,579	13,114	35.9
2024年3月期	37,148	12,772	34.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 13,114百万円 2024年3月期 12,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	0.00	40.00
2025年3月期	—				

(注) 2024年5月13日付「MB0の実施予定及び応募の推奨に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、ビー・エックス・ジェイ・ビー・ツー・ホールディング株式会社（以下「公開買付者」という。）による当社の発行済普通株式（以下「当社株式」という。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」という。）及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから2025年3月期の配当予想は記載しておりません。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

2024年5月13日付「MB0の実施予定及び応募の推奨に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから2025年3月期の業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	12,338,365株	2024年3月期	12,338,365株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	231,786株	2024年3月期	230,993株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	12,107,292株	2024年3月期1Q	12,107,542株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、創業以来の中核事業であるSMO事業及びCRO事業の拡大を推進するとともに、グループ戦略として、SMO事業及びCRO事業で創出される資金を原資として、先端医療事業及び創薬事業における医薬品や先端医療技術の開発、メディカルサポート事業のノウハウを活かした設備投資等を行うことで、各事業の事業基盤を強化し、多様化・高度化する市場の要求に応えることができる製品・サービスの品質向上及び研究開発力の強化を実現しています。

引き続き変革と革新に取り組み、グループシナジーをさらに拡大し競争優位性を高めることで、さらなる飛躍に向けた中長期的な企業価値の向上にも取り組んでいます。

SMO事業においては、引き続き基幹病院との提携拡大及びがんや難治性疾患を含むあらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制の構築を推進することにより、安定した収益基盤を構築しています。また、医薬品開発を取り巻く環境の変化及び複雑化・高度化する臨床試験に迅速かつ柔軟に対応するため、より高度な人材教育の体制構築を推進するとともに、採用強化により人員拡大にも注力することで、事業基盤のさらなる拡充に取り組んでいます。

CRO事業においては、海外の臨床試験実施施設における新規試験の受託が堅調に推移し、業績が大きく拡大しています。国内事業においてもアカデミアをはじめとした新規試験の受託の推進に加え、受託業務の拡大や統計解析分野のさらなる強化により企業治験の受託拡大にも取り組んでいます。

先端医療事業及び創薬事業においては、当社グループの各パイプラインの開発を推進しており、実施中の臨床試験が順調に進捗しています。当セグメントでは、臨床試験をはじめとする研究開発にかかる経費が引き続き発生しておりますが、ライセンス事業や化粧品の販売及びOEM事業などの当セグメントにおける各事業の推進により収益の改善を図っています。

その結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高は4,616百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は117百万円（前年同四半期比84.0%減）、経常利益は372百万円（前年同四半期比65.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は291百万円（前年同四半期比67.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① SMO事業

当セグメントにおきましては、引き続きアンメット・メディカル・ニーズの高いがんや難治性疾患等の疾患領域の開発が増加しているため、専門医療センターや大学病院等の基幹病院との提携を拡大し、あらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制構築を推進しています。一方で、がんや難治性疾患等の試験と比較して1試験あたりの規模が大きいプライマリー領域の試験の受託も推進しており安定した収益基盤を構築しています。

また、医薬品・医療機器等の開発はグローバル化や開発期間の短縮化が進むとともに、開発手法の変化により、臨床試験に対するニーズの多様化が続いています。当社グループのSMO事業では、医薬品開発を取り巻く環境の変化及び複雑化・高度化する臨床試験に迅速かつ柔軟に対応するため、より高度な人材教育の体制構築を推進するとともに、採用強化により人員拡大にも注力することで、事業基盤のさらなる拡充に取り組んでいます。

その結果、売上高は2,181百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は708百万円（前年同四半期比35.6%減）となりました。

② CRO事業

当セグメントにおきましては、日本・オーストラリア両国にて保有する臨床試験実施施設において、欧米や日本を含むアジア・オセアニア地域の製薬企業等の早期段階の医薬品開発を支援しています。また、国内において、国内外の製薬企業の臨床試験や申請業務等の支援を行うとともに、医師主導治験や臨床研究の支援を行っています。

当第1四半期連結累計期間においては、海外の臨床試験実施施設における新規試験の受託が堅調に推移し、業績が大きく拡大しています。国内事業においてもアカデミアをはじめとした新規試験の受託の推進に加え、受託業務の拡大や統計解析分野のさらなる強化により企業治験の受託拡大にも取り組んでいます。

その結果、売上高は1,879百万円（前年同四半期比31.5%増）、営業利益は112百万円（前年同四半期比205.4%増）となりました。

③ 先端医療事業

当セグメントにおきましては、COVID-19ワクチンの開発において、第I相臨床試験を実施しております。

また、iPS細胞作製キット「CytoTune-iPS」のライセンス事業を推進しており、基盤技術であるセンダイウィルスベクターを用いた新たな事業機会の創出に取り組んでいます。

当セグメントでは、新しい医薬品・医療技術の研究開発に注力しており、その経費が引き続き発生しておりますが、ライセンス事業や化粧品の販売及びOEM事業などの当セグメントにおける各事業の推進により収益の改善を図っています。

なお、ライセンス事業において前年同四半期に海外大手製薬企業とのライセンス契約に基づく契約一時金等の計上があったことから、前年同四半期比では売上高及びセグメント利益が減少しています。

その結果、売上高は288百万円（前年同四半期比52.3%減）、営業損失は25百万円（前年同四半期は営業利益190百万円）となりました。

④ 創薬事業

当セグメントにおきましては、海外の大手製薬企業とのライセンス契約に基づき、バイオシミラーの国内共同開発を進めています。

バイオシミラー開発は、国際共同第III相試験を実施中であり、2027年度の上市を目指し開発を進めています。また、実施中の臨床試験だけでなく、様々な可能性の検討にも取り組んでおり、それらの開発費用が発生しています。

その結果、営業損失は140百万円（前年同四半期は営業損失111百万円）となりました。

⑤ メディカルサポート事業

当セグメントにおきましては、開発事業者や不動産会社などと連携して、駅からのアクセスや地域の医療機関の需要など、様々な条件を満たす主に新築の物件を厳選してクリニックモールを開設しています。また、クリニックモールでの開業を検討する医師に対して開業支援を手がけるとともに、開業後の医療機関に臨床試験を紹介するなどその経営を多角的に支援しており、収益を確保しています。

その結果、売上高は264百万円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益は44百万円（前年同四半期は営業損失49百万円）となりました。

⑥ その他

当セグメントにおきましては、上記以外の事業等により、売上高は2百万円（前年同四半期比96.7%減）、営業損失は66百万円（前年同四半期は営業損失31百万円）となりました。

(注) 売上高は外部取引のみの合計であり、セグメントの営業利益は、セグメント間の内部取引による利益を含んだ合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末より568百万円減少し、36,579百万円となりました。これは売掛金が減少したことが主な要因となっております。

負債につきましては、前連結会計年度末より910百万円減少し、23,464百万円となりました。これは買掛金及び長期借入金が増加したことが主な要因となっております。

純資産につきましては、前連結会計年度末より341百万円増加し、13,114百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が主な要因となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,236	7,373
売掛金	4,464	3,821
商品及び製品	80	79
仕掛品	297	259
原材料及び貯蔵品	347	340
短期貸付金	634	527
預け金	1,432	1,467
その他	1,333	1,719
貸倒引当金	△383	△383
流動資産合計	15,442	15,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,239	7,289
工具、器具及び備品（純額）	1,944	1,254
機械装置及び運搬具（純額）	916	863
土地	2,528	2,529
建設仮勘定	3,094	3,150
有形固定資産合計	15,723	15,086
無形固定資産		
のれん	841	855
その他	46	73
無形固定資産合計	887	928
投資その他の資産		
投資有価証券	2,238	2,286
長期貸付金	234	284
差入保証金	1,473	1,481
繰延税金資産	15	81
その他	1,132	1,224
投資その他の資産合計	5,094	5,358
固定資産合計	21,705	21,374
資産合計	37,148	36,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	647	372
短期借入金	6,360	6,360
1年内返済予定の長期借入金	2,346	2,273
未払法人税等	316	276
契約負債	542	520
リース債務	208	225
賞与引当金	—	64
その他	2,094	1,926
流動負債合計	12,515	12,019
固定負債		
長期借入金	9,756	9,257
繰延税金負債	—	52
資産除去債務	147	147
預り保証金	390	391
退職給付に係る負債	162	162
リース債務	1,291	1,322
その他	111	111
固定負債合計	11,860	11,445
負債合計	24,375	23,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,899	3,899
資本剰余金	1,495	1,495
利益剰余金	7,604	7,896
自己株式	△424	△426
株主資本合計	12,574	12,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	135
為替換算調整勘定	57	114
その他の包括利益累計額合計	197	249
純資産合計	12,772	13,114
負債純資産合計	37,148	36,579

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,659	4,616
売上原価	2,420	2,721
売上総利益	2,238	1,894
販売費及び一般管理費		
役員報酬	123	118
給料手当及び賞与	593	744
賃借料	117	182
研究開発費	181	105
その他	485	626
販売費及び一般管理費合計	1,501	1,776
営業利益	737	117
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	0	0
為替差益	368	296
受取地代家賃	66	30
その他	48	137
営業外収益合計	489	473
営業外費用		
支払利息	43	50
有価証券運用損	34	57
貸貸収入原価	59	34
業務委託料	—	68
その他	23	8
営業外費用合計	160	218
経常利益	1,066	372
特別利益		
固定資産売却益	117	92
特別利益合計	117	92
特別損失		
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	1,179	463
法人税、住民税及び事業税	183	178
法人税等調整額	104	△6
法人税等合計	288	171
四半期純利益	891	291
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	891	291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	△4
為替換算調整勘定	15	56
その他の包括利益合計	71	52
四半期包括利益	963	344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	963	344

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	214百万円	278百万円
のれんの償却額	30百万円	30百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益及び 包括利益 計算書 計上額 (注3)
	SMO事業	CRO事業	先端医療 事業	創薬事業	メディカル サポート 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	2,275	1,429	605	—	277	4,588	70	4,659	—	4,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	174	137	269	—	176	758	15	774	△774	—
計	2,450	1,567	875	—	453	5,346	86	5,433	△774	4,659
セグメント利益 又は損失(△)	1,100	36	190	△111	△49	1,166	△31	1,135	△397	737

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△397百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△391百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益及び 包括利益 計算書 計上額 (注3)
	SMO事業	CRO事業	先端医療 事業	創薬事業	メディカル サポート 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	2,181	1,879	288	—	264	4,614	2	4,616	—	4,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	110	211	339	—	310	971	—	971	△971	—
計	2,291	2,091	628	—	575	5,586	2	5,588	△971	4,616
セグメント利益 又は損失(△)	708	112	△25	△140	44	700	△66	633	△515	117

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△515百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△559百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度から、「創薬事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、従来「その他」に含めていた当社の連結子会社であるI'ROMLIMITEDにおいて、海外を中心とした全社的なマネジメント業務の拡大により発生する費用が各セグメントに配分できないものであることから、一部の外部顧客への売上高及び費用を除き全社費用に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。